

# 利賀ダムCIM・DX計画本格始動！

ダム建設事業は大規模構造物ということもあり、利賀ダム工事事務所では設計段階からのCIM化をいち早く進めています。統合CIMモデルを構築していません。  
また、CIMの活用方法を見いだせていないなど課題が山積みとなっています。

このような状況を打破すべく 熊本大学 小林特任教授 をお招きして事務系・技術系を問わず全職員を対象とした勉強会を開催しました。



熊本大学 小林特任教授



勉強会の風景



小林特任教授からはCIMのパイオニアでもある九州地整の事例等を踏まえ次の講義を頂きました。

- CIMとは『めがね』である
- 多くの人数がCIMに携わることで『縦割り解消CIM』が構築される
- 統合CIMモデルの構築にあたり目的が無いとNG（見るだけCIM・後付けCIMなど）
- 統合CIMモデルは 課題の『発見』『解消』『共有』が出来るツール
- CIMを構築するにあたり『見えて嬉しい』『足して嬉しい』『これがやりたい』という想いをもって構築することが重要で失敗しない



意見交換の状況



利賀ダム本体CIMモデルの操作状況

その他に、CIMを構築するにあたり『CIMマネージャー』、『CIMコーディネーター』、『CIMモデラー』によるチームも重要とのことで、この中でもCIMを活用する『CIMコーディネーター』として若手職員の育成を進めていくことになり、利賀ダムCIM・DX計画が本格始動する運びとなりました。